みんなで一歩
～チャレンジ・つながり～

令和８年(２０２６年)１１月９日
豊中市立桜井谷小学校
学校だより　No.１３
校長　渡部　潤也

一人ひとりに無限の可能性が！



11 月の全校朝会では、次のような話をしました。

☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆

今年 10 月、愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会が開かれました。



アジアのさまざまな国や地域から集まった、障害をもっている選手たちが、それぞれの競技で全力をつくしました。

パラスポーツで有名な日本人の中に、車いすテニスの小田凱人（おだ　ときと）いう選手がいます。

TV で見たことがある人もいるかもしれませんね。小田選手は、９歳までは、プロのサッカー選手になるためにがんばっていました。その頃までは、みなさんと同じように元気に走り回ることができたんです。ところが足の骨のがんになってしまい、自由に走れなくなりました。その時に出会ったのが車いすテニスです。毎日毎日、車いすに乗りながらテニスの練習を続けた結果、世界一の車いすテニスプレイヤーになったのです。今回のアジアパラ競技大会でも見事に金メダルに輝きました。「人の可能性ってすごいな」と思いました。



選手のみなさんは、障害があるからできないではなく、自分にできることを見つけて、その力を伸ばしてきました。何度も練習し、工夫し、挑戦を続けてきた結果が、今の活躍につながっています。これはスポーツ選手だけの話ではありません。

みなさん一人ひとりにも、まだ気づいていない大きな可能性があります。

算数が得意になる可能性。歌を上手に歌えるようになる可能性。友達を助ける優

しさを伸ばす可能性。好きなことをとことん頑張れる可能性。新しいことに挑戦できる可能性。

今は苦手だと思っていることでも、あきらめずに続ければ、できるようになるかもしれません。

大切なのは、「どうせ無理だ」と決めつけないことです。

パラスポーツの選手たちは、「できない理由」ではなく、「できる方法」を考え続けています。だからこそ、自分の力を大きく伸ばすことができたのだと思います。

みなさんも、自分の中にある可能性を信じてください。

そして、自分だけでなく、友達の可能性も信じてください。

みんなでお互いの可能性を認め合い、応援し合える学校にしていきましょう。そうすれば、もっと素晴らしい学校になると思います。

今日の話は、「一人ひとりに無限の可能性がある」ということでした。ぜひ、自分の可能性を信じて、新しいことに挑戦してみてください。

☆　　☆　　☆　　☆　　☆　　☆　　☆

【外国語オンラインブレンディッド授業】

豊中市では、タブレット端末を活用し、対面学習とオンライン学習を組み合わせた「外国語オンラインブレンディッド授業」に取り組んでいます。オンラインで海外の先生とつながり、実際に英語でコミュニケーションを行うことで、外国語に親しみながら、伝え合う力を育むことを目指しています。



11月2日（月）には、4年生がこの授業を行いました。家庭科室で5～6人のグループに分かれ、各グループに1台のタブレット端末を配置し、オンラインで海外の先生と交流しました。

児童は「どこの国に住んでいるのですか」「好きな食べ物は何ですか」など、学習した英語を使って積極的に質問し、会話を楽しんでいました。

実際に外国の人と英語でやり取りをする経験を重ねることで、英語を使う楽しさを感じるとともに、コミュニケーションへの自信を高めてほしいと考えています。